

1

建材の吸水実験

場所：郡山市中央公民館 1階工作室
日時：試験体製作 令和2年 9月19日(土) 09:30～12:00
試験体浸水 令和2年10月10日(土) 09:30～19:00

水害での浸水被害が後を絶たない昨今、浸水ラインより建材がどの程度水を吸い上げるかを、一般的な木造住宅と同じ構造の試験体を使い実験し、現在経過観察中。令和3年度に実験の報告書を作成予定。

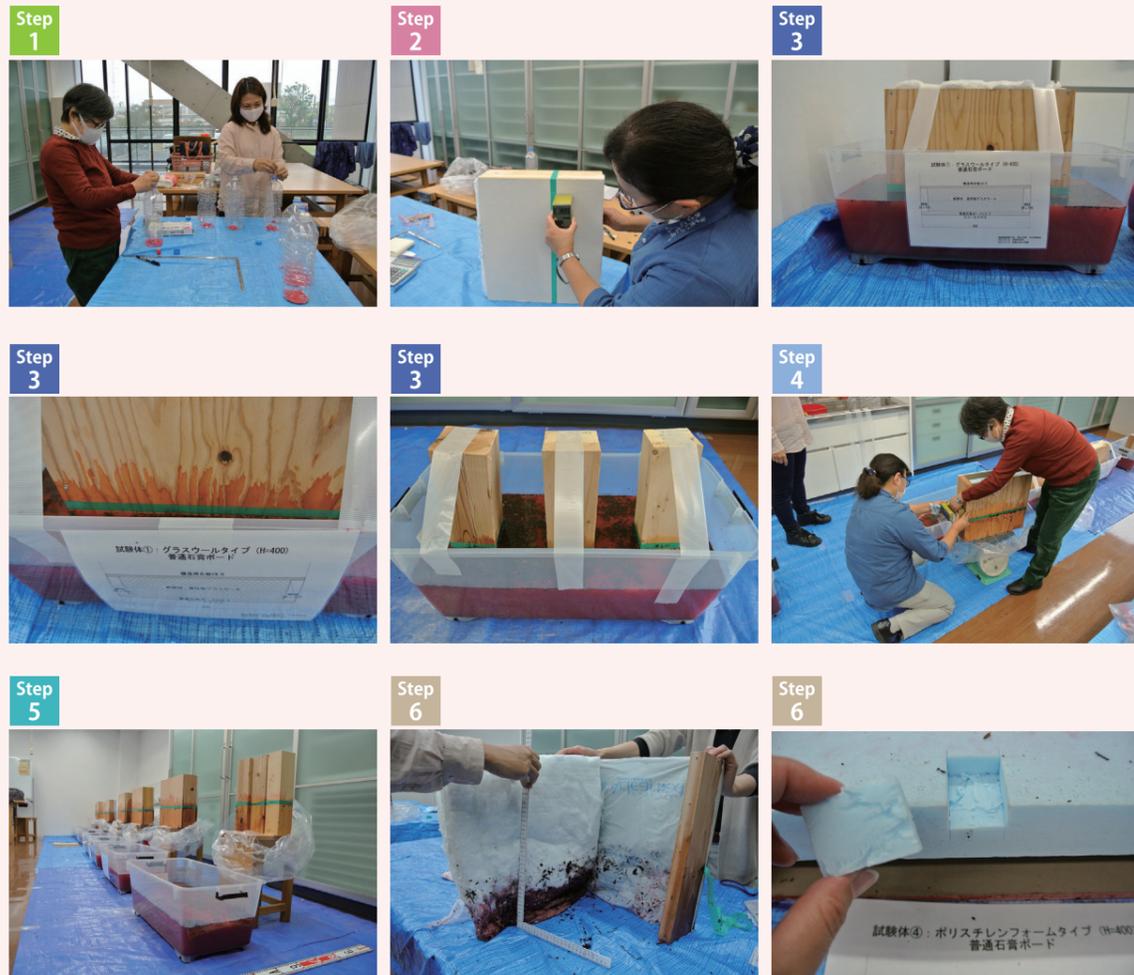
9/19

試験体製作



10/10

試験体浸水



経過観察で分かったこと

浸水後30分である程度吸水した後は緩やかに含水率が伸び、引き上げ後は材料単体の柱・大引が最も含水率の低下が早く、次いで耐水ボードを使用した試験体でした。

2

活動紹介のパネル展

場所：郡山駅前 MOLT11階 Enjoy Home 特設ブース
日時：令和2年11月21日(土)～11月27日(金)

青年委員会と女性委員会の合同事業で、建築士会の取り組みを一般の方々に紹介するパネル展。主に郡山支部の活動と女性委員会の活動を紹介。青年委員会の事業「お菓子の家づくり」と同時開催。

写真上段/お菓子の家づくりとパネル展の様子 11月21日～23日
写真下段/パネル展 11月24日～27日



展示パネル①/福島県建築士会 女性委員会の取組放射線の遮蔽実験及び冊子の発行

2013年から2014年にかけて、県の女性委員会の活動として実施された放射線の遮蔽実験の集大成として1冊の本が発行されました。それが「考えよう！明日を担う子供達のための住まいづくり」です。この本は、建築士の仲間達だけでなく、何より「地元の主婦の方々に見て頂いて、知識がないために増幅する放射線へのやみくもな恐怖を少しでも減らしたい」と言う、おなじ地域に暮らす女性だからこそ沸きあがる「皆で安心して暮らしたい」と言う強い想いを具現させるべく発行を決めた本でした。

冊子の表紙



女性委員会の活動 「考えよう！明日を担う子供達のための住まいづくり」福島にしかできない活動でもあった放射線遮蔽実験

2013年から2014年にかけて、県の女性委員会の活動として実施された放射線の遮蔽実験の集大成として1冊の本が発行されました。それが「考えよう！明日を担う子供達のための住まいづくり」です。この本は、建築士の仲間達だけでなく、何より「地元の主婦の方々に見て頂いて、知識がないために増幅する放射線へのやみくもな恐怖を少しでも減らしたい」と言う、おなじ地域に暮らす女性だからこそ沸きあがる「皆で安心して暮らしたい」と言う強い想いを具現させるべく発行を決めた本でした。

冊子発行までの流れ

2013年(H25)1月～6月	放射線リスクへの対応実態と子供の生活アンケート調査
2013年(H25)10月8日 2014年(H26)4月17日	Wiz 国際情報工科大学校 放射線科にて放射線についてのレクチャー・建築材料の放射線測定
2014年(H26)5月27日 ～8月17日	南相馬市小高地区にてモックアップ調査
2014年(H26)10月24日	冊子完成6000部印刷・配布 (公)建築士会連合会 全国大会ふくしま大会・交流会セッションにて配布 配布先/全国大会ふくしま大会参加者・県内で避難者の方々の市町村 発行/建築士会連合会

実験の結果分かったこと

重い材料 セメント系外壁 セメント板や外壁など、重い材料ほど遮蔽効果が高い。	厚い材料>薄い材料 同じ素材の建材であれば、厚さが厚いほど遮蔽効果が高い。また、同性質の同じ厚さの材料であれば製造メーカーによる差はほとんど無い。	断熱材 断熱材はどの素材でも、厚みに関わらず遮蔽率が低く、遮蔽効果が期待できない。
和瓦 > 珪藻土 いぶし和瓦の遮蔽率が高い：ガルバリウム鋼板の約6倍。	ワラ床 > 吹上 ワラ床の遮蔽率が高い：同じ厚みの断熱材床畳(スタイロフォーム)と比べて約2倍。	カーテン 放射線対策カーテン(エックス線遮蔽用)について、カタログにエックス線では90%以上遮蔽と記載されているが、今回のガンマ線では遮蔽効果がほとんど見られなかった。